白熱化の労働争議 大示威運動を起す

川崎三菱の造船職工呼應し

【神戸電話】神戸の労働争議は漸く白熱化し川崎造船所職工聯盟の[illegible]正午は今日正午[illegible]職工の集団を催し一大示威運動を起し造船所職工の労働組合[illegible]用することを正式に[illegible]で伍長以上の役付き職工を左選とすること、他の労働組合に加入の自由を有すること、解雇解職手當の増額、日給の増額其他四項の條件承認を要求し来る七月十五日正午迄に満足な與へられ度と申出たが[illegible]兵庫の分工場もこの運動に加入し明三日午前九時から大倉山公園に[illegible]することになつた又三菱内燃工場の[illegible]職工も[illegible]三菱造船所職工三千七百名も内[illegible]の労働組合と[illegible]することに決し一方尼ケ崎の武川ゴム工場内の設備不完全の為職工約百名から改善方を申出たが其儘となつて居たので愈々今日から同盟罷業が決行することとなつた

工作課長の言明も

職工の認むる所とならず

依然怠業状態の三菱内燃機

神戸三菱内燃機職工側交渉委員九十名は一日[illegible]間瀬工作課長に[illegible]見し幾に解[illegible]谷委員に対する善後策其他に就き要求する處があつたが、同課長の主張す

る處に依れば此際職工諸氏が誠意を披瀝して就業すれば予は諸君の期待に背かざる様努力せんとの事に委員連は直ちに友愛會幹部を加へて會合したが同課長の言辭は此際尊重すべきものに非ずと決議した結果今日一日も依然として怠業の状態を

持續し

正午全職工は食堂に参集し各自交々壇上に起つて猛烈なる演説を試み感慨なき間瀬課長の礼讃し[illegible]初志の貫徹を期する旨論して散會

三菱内燃機依然怠業

硬派職工初志貫徹を絶叫す

三菱内燃工場の争議は一日夜硬派職工が某所に會合してから益々勢ひを盛返し二日も依然怠業を継続して居る、斯くて午前九時半一職工が工場門前に運動職工を[illegible]激烈演説を始めたが工場側から門扉の閉出しに依つて余儀なく帰宅した、然し工場

喰止め

内の硬派職工連は食堂に参集交々起つて飽くまで初志を貫徹せねばならぬと絶叫した、この騒中海軍省艦政本部長岡田中將は午前十時頃から来神工場内を視察し労資協會の荒川賢氏も同争議内容調査の為め工場に来訪した(神戸電話)

艤装工蹶起

要求を提出す

三菱神戸造船所艤装工場の職工八百余名は数日前から内燃機職工と相應し蹶起せんとして寄々協議中であつたが二日左の要求書を提出することゝした(神戸電話)

一、團體交渉權の確認
二、八時間労働制の施行(現在九時間)
三、賃銀六十錢の値上
四、解雇手當の件
五、犠牲者を出さゞる事

艤装職工も要求提出

三菱神戸造船所艤装工場職工八百余名は数日前から内燃機職工と相應し[illegible]寄々協議中であつたが二日左の要求書を提出することゝした[illegible]

三菱内燃機の争議 遂に造船部に飛火す

一日正午に至り艤装工場を含む八千七百名の職工 相呼應して立つ

神戸三菱内燃機職工が[illegible]依然として造船部は交渉[illegible]委員九十余名、艤装部は同[illegible]名を何れも選出し近く[illegible]開始に[illegible]をして居るが既に造船部職工[illegible]

既報の

如くなるが更に同所造船部職工約八千名及び造船部に屬する艤装工場も[illegible]名は過般来何事か寄々協議を為し不穏の形勢[illegible]居たが果して一日正午に至るや一同食堂に集合協議会を開き種々協議の結果愈々此際内燃機工場に

要求案

を提げて会社側へ肉迫するもの如く斯くて形勢は刻々険悪に陥りつゝある

相呼應

大々的賃銀値上げ要求運動が開始する事に[illegible](神戸電話)

三菱内燃機依然怠業

造船部艤装工場職工も動く

二日朝から相變らず神戸三菱内燃機の職工等は怠業を継続して居るが[illegible]の中の硬派側[illegible]名は工場内の[illegible]で「我々は飽迄初志を貫徹せねばならぬ」など、盛に煽動[illegible]集め再び團體交渉權の確認以下三項の要求を會社に提出すべく決議し正午頃総會を掲げて工場に引揚げ引続き怠業して居る而して協調會副参事の荒川賢氏は午前十時頃内燃工場に来り状況を視察したが氏は「今後如何に紛糾するかは知らぬが當分協調會はこれに干與しないつもりである」と語つて居た尚造船部の艤装工場の職

急轉直下=無事解決か

三菱内燃機職工争議

突如澁谷交渉委員の馘首宣言に職工喊聲を擧げて事務所へ殺倒す

間瀬作課長から職工へ陳謝の事

怠業状態を持續しつゝある三菱内燃機職工は昨一日も赤出勤一時間後例に依つて怠業をやりかけた、午前九時頃、突如會社側から三同の交渉委員澁谷照夫に對し馘首を宣言した。その非違行に對する間瀬工作課長の態度が頗る

横暴で

あつたとて職工連は大に憤慨し、事務所前に殺到して澁谷を擧げ罵聲を放つなど形勢頗る不穏となつたので、さなきだに警戒を厳密にしてあつた同社の空氣は寧ろ物凄い程になり、非番監援の守衛、私服の官憲等之が鎮静に努め會社側と職工側とが

交渉し

た結果、交渉委員を出す事になり午前十時頃、松本果外九名の交渉委員と會社側と會見する事になつた。所が會社側では松本一名だけなら會はうと云つて松本と間瀬工作課長、工[illegible]主任[illegible]が會見し、十時半、松本果は工場内に引揚げ[illegible]委員と

鳩首合

議の末、五ケ條の要項を提出し會社側の諒解を得て午後[illegible]職工を集合せしめ間瀬工作課長から職工に對する態度の宥恕の陳謝をし[illegible]四時半の定刻に一同穏かに退出した

新に五ケ條の要求

委員の軟化二十名反對三十名

斯くて圓滿に手を打つた

會社側は委員の馘首など云ふ

右に就いて會社側の市川助役は『[illegible]ません、澁谷を馘首したなど、そんな事は無いのです。要求も解雇も受けて居ないのですから最初から白紙です。だから條件と云ふやうなことは無論ない筈です』と語り又一職工は「今朝十時に出勤して一時間怠業つて居ました、すると八時頃

第二回

の交渉に澁谷が呼ばれて行つた限り歸つて來ませぬので會社側の誠意が職工に通じ唯今(四時過)円満な解決が着きました、明日から平日の如く出勤して大に働くまでの怠業を取消すさうです、から安心して下さい、三日間の怠業か?、會社では今日までの状態を

怠業と

は認めて居り

最初の目的貫徹力説

軟化説に大反對の硬派委員

或は形勢逆轉の惧れ

問題の澁谷委員太く激昂

[illegible]時頃に事務所が澁谷の交涉を選び持つて行つたので二十餘名の委員が職工の大部分が事務所へ殺到し澁谷を取かへすほりでした、することに機械工場の松本が私に任せ

一任し

たやうな譯でこいふりで間瀬工作課長と橋本との談判の結果を松本が報告しましたが、五十名の委員中二十名は軟化し三十名が反對したので結局、澁谷を復職せしめる事最初の通りの擬態となり中途で裏切つた九名の總員を二日以内に馘首する事、外三項の

要件を

提出し再度の會見後、何とかするこいふ返事で[illegible]もあり間瀬課長の謝罪もあつたので兎も角二日は出勤することにして退場したのです」と語つた

最初要件の本旨に觸れぬ要求で解決は出來ぬ

右の如く表面既に解決の運びになつて居る一方に於て右等の委員の報告に際し松本委員の軟化説に極力反對を示した硬派三十名委員中前記の要求案に反對の理由として小職工の一員は『役付の者は我々が最初提出した要件を貫徹に

認容さ

せる爲めにこそ我々から要求提出を依頼して置き乍ら本日は全然我々の要件本旨に觸れ無い要求、即ち同士中の裏切り者を處分させるこかさせぬこか所謂枝葉の問題を提出して逃げるから私は餘り感心しませぬ[illegible]

澁谷委

員は『午前八時頃に[illegible]最初の目的貫徹に努め

解決を

見ん爲めに委任状を護したのでは無い、我々は二日朝出勤して今一應委員から[illegible]末を報告せしめた上で[illegible]

承諾す

る譯に行きません、私は其理由を[illegible]解出來なかつたら[illegible]『[illegible]えです』と非常に憤慨して語つた